



## 話題 この人



第1回ナンバースポーツ  
ノンフィクション新人  
賞に輝く

村本浩平さん  
社会情報学部 3年

何となく落ち着かず、せめて身でも清めておこうと思つて來た近くの銭湯の湯船の中で「もし貴なんか取つちゃつたらどうしよう」と思つて來た。最終選考の当日の事である。忘れていた時限爆弾が思いがけない時に炸裂したかのよう、三ヶ月前に送つた原稿が「最後選考まで残りました」という電話が来た。自分では全く自信がなく、しかも応募したことも忘れていたよ

うなものだったので、とても信じられなかった。が電話の相手はそんうろたえる自分を、「すばらしい作品でしたよ」などと盛んに褒めてくれたので、悪い気もしなかった。この書くとタカを括つていい、と思われるだろうが、大学在学中に何らかの文学賞と名の付くものは取れるという自信はあつた。だが、スポーツノンフィクションという新しい分野、しかも出来たばかりのこのようすばらしい賞の候

補に上るなんて思つてもみなすことだった。作品についても全く自信がなく、こんなものを見んでもらつてもいいのだろうか? と、応募するのを止めようと思った。ただ、読める方々に読んでほしいと思つた。林先生(小学校四年生の頃の担任)とのそして大勢の友達達とのそばらしさ思い出。それは書けたはずだと思ったので送つた。それが自分でも想像もつかないような最高の結果を得て、しかも認められたのだから文学とは、また人生とはよく分からぬものだと思う。

さつかりのぼせてから家に戻り、最終選考の結果を電話で、この公共性実現の方途はイギリスの東印度会社が二権分立の形で体现している。今年度商法改正で取締役の責任追及のための株主代表

がら待つた。期待と不安が入

り混じっていた。だが、もちろんかもという気持ちが少しだけ優つたような気がした。そして午後六時過ぎ、電話が来た。「おめでとうございます……」その途端、胸が熱くなつた。今まで自分を信じて來て良かったと思つた。

元学生事務部長・前就職課長の西村栄徳氏は平成五年七月十三日、肝臓ガンのため四十七歳で急逝しました。

同氏は、札幌学院大学の開学と機

を同じくして昭和四十三

年、元学生事務部長・前就職

課長の西村栄徳氏は平成五年七月十三日、肝臓ガンのため四十七歳で急逝しました。

志し半ばで逝つた同氏の

二十五年余、その多くは学生部、施設・管財部門等を通じて、学生指導・課外活動の振興、キャンパス整備、教育環境の改善などに多大な貢献をされました。

また、西村栄徳氏は、元学生事務部長として就任して、新しく大学づくりの一翼を担つて真摯な情熱を注がれました。氏が本学に在つた

間には、日本マスコミニケーション学会が本学で開催された。日本マスコミュニケーション学会は、マスコミュニケーション研究者のミーティングで、新聞報道放送のみならず、新聞報道放送の業務に携わる方々を含む、会員約一千名からなる全国学会である。本研究発表会への参加は約三五〇名に達し、二日間にわたつて熱氣溢れる議論が展開された。四会場に分かれ行われた自由報告部会では、近年の報告では最も多い十三本の報告がなされた。

また、学会主催の記念講演が行われ、北海道ウツリ協会の野村義一氏が「現代の先住民問題とその国際性」というテーマで約一時間にわたり熱

い講演を行つた。西村栄徳氏は、元学生事務部長として就任して、新しく大学づくりの一翼を担つて真摯な情熱を注がれました。氏が本学に在つた

間には、日本マスコミニケーション学会が本学で開催された。日本マスコミュニケ

ーション学会は、マスコミュニケーション研究者のミーティングで、新聞報道放送のみならず、新聞報道放送の業務に携わる方々を含む、会員約一千名からなる全国学会である。本研究発表会への参

加は約三五〇名に達し、二日間に行なわれた熱氣溢れる議論が展開された。四会場に分かれ行われた自由報告部会では、近年の報告では最も多い十三本の報告がなされた。

また、学会主催の記念講演が行われ、北海道ウツリ協会の野村義一氏が「現代の先住民問題とその国際性」という

テーマで約一時間にわたり熱

い講演を行つた。西村栄徳氏は、元学生事務部長として就任して、新しく大学づくりの一翼を担つて真摯な情熱を注がれました。氏が本学に在つた

間には、日本マスコミニケーション学会が本学で開催された。日本マスコミュニケ

ーション学会は、マスコミュニケ



